

使用後のお手入れ 2

<http://takadaboueki.com/maintenance3.html>

3.靴を乾かす

靴とインソールをそれぞれ風通しの良い場所で陰干ししてください。

(写真 J)

直射日光下での乾燥は避けてください。(写真 K)
ストーブ等の熱源の近くに置いたり、ドライヤー等の使用、直射日光による乾燥は型崩れや損傷、またはソールの劣化を早める原因となります。



4.お手入れ

登山靴をより長持ちさせるには定期的なお手入れが欠かせません。前項の[購入時のお手入れ](#)を参考に登山靴の素材に応じたお手入れを行ってください。

革の油分が不足し必要な場合は、保革のメンテナンスを行ってください。

■革の油分がなくなり革表面がカサつく症状が出ましたら、保革成分入りのメンテナンス剤([レザーワックス](#)や[ビーワックスローション](#)、[アウトドアアクティブ ビーワックススプレー](#)等)を使用し、革に栄養分を与えてください。(写真 L)

■ワックス類は少量を指に取り、指の腹で少しずつ革になじませるように、薄く伸ばしながら塗ってください。1～2日間置いて乾燥後ブラッシングすると、革表面に光沢が出てツルツルとした質感になります。

■ブラッシング後、革表面にベタつきがある場合は、ワックスを塗りすぎた状態です。塗りすぎたワックスは乾いた布等で拭きとってください。

風合いを戻したい場合は[ヌバックローション](#)を使用してメンテナンスを行ってください。

■長年の使用によって風合いが薄くなったり、紫外線などで日焼けしたヌバックやスウェード革は、[ヌバックローション](#)を使用すると風合いを元に近い状態へ復元します。

(写真 M) 風合いの戻り具合は革の種類によって異なります。

■塗った後は乾かした後に[みがきブラシ](#)でブラッシングしてください。成分を均一に伸ばして色ムラをなくす効果があります。